

9月8日

テーマ：「主がしてくださったことを知らせる」

聖書箇所：マルコの福音書5章1節～20節

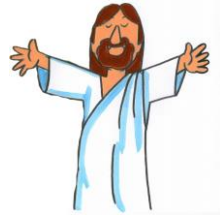
◆今日のみことば

しかし、お許しにならないで、彼にこう言われた。「あなたの家、あなたの家族のところに帰り、主があなたに、どんなに大きなことをしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを、知らせなさい。」

マルコの福音書5章19節

◆メッセージ

イエスさまは今でも、人々を罪や悪の支配から救い出してくださいます。それはイエスさまの恵みによる救いのみわざです。私たちも、生まれながらの罪人で、たくさんの罪や悪の支配の中に生きていたのではないのでしょうか。悪い不安な時代でもあります。私たちの生活の中には思い当たる罪、悪い行いや悪い心やことばがあった（今もある）のではないのでしょうか。しかし、そんなこの世や私たちの所に、イエスさまはやって来てくださいました。そして聖霊のお働きを通して、祈りや悔い改めの告白、イエスさまを救い主として信じる信仰を与えてくださいました。イエスさまを救い主と信じ受け入れたあとの私たちは、昔とは比べられないほど、平安や喜びが与えられている（いく）はずです。私たちの性格や行動も、以前の私と比べますと成長を与えられているはずです。そのように、主が私たちにしてくださった救いの恵みの実りを感謝しましょう。またその恵みを、家族や友達に知らせることができるようお祈りしましょう。



イエスさまは今日のみことばの中で、ご計画を持ちつつ、デカポリスという、異邦人の地方のゲラサ人の土地に乘られました。そこには悪霊に苦しめられていたひとりの人がいました。この人はいつも孤独で、大変苦しい荒れた生活をしていました。非常に多くの悪霊が、この人を支配していたからです。自分でしたくないと思うことをしていました。お墓に住んでいたんですよ。家族もこの人のことを嫌がっていました。すごい力で暴れるので、だれもこの人によりつきませんでした。どんなに苦しかったでしょうね。この人に会いに来られたイエスさまは、この人の中にいたたくさんの悪霊をこの人から追い出しました。悪霊も、イエスさまの前では力がありません。この人のたくさんの悪霊が乗り移った二千匹の豚の群れは、湖に駆け降りておぼれて、死んでしまいました。イエスさまは、この人のからだや心を、悪霊から解放して治してくださいました。

治してもらったこの人は、嬉しくて、イエスさまについていきたいと願いました。でも、イエスさまは言われました。「あなたの家族や町の人々に、神さまがしてくださったことを知らせなさい。」え～、今まで、自分のことを嫌がっていた人たちに、イエスさまの愛を知らせるのは、なんだか損。ひとりじめにしておきたい。それに、家族や町の人たちは自分の話を聞いてくれるでしょうか？でも、ゲラサの人たちも、イエスさまに救われなければ、滅びてしまいます。この人は、イエスさまから言われたとおり、家族のもとに帰ってイエスさまがしてくださったことを話しました。町の人たちにも。命じられたイエスさまは、力も勇気も愛も与えてくださいます。この地方の中で、広く人々に、イエスさまがこの人にしてくださったことを知らせる人へと変わりました。この人の家族やデカポリス地方の人たちは大変驚いて、その中にはまことの神さまを信じた人も出たことでしょう。

あなたは、家族やお友だちに、イエスさまがしてくださったことを話していますか？ひとりじめにしていますか。イエスさまは、あなたにイエスさまのことを知らせてほしいと願っておられます。

◆お祈り

「私にしてくださった救いのめぐみを感謝します。めぐみを家族や友だちに知らせることができるよう。」

(松本中央教会牧師 原山伊作)

